

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300906
法人名	有限会社 エンジェルハウス
事業所名	グループホーム紙ふうせん
所在地	愛媛県宇和島市三間町成家845番地
自己評価作成日	平成21年11月10日～11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが安心して暮らせるように、サービスの見直しや計画も、スタッフ、家族と情報提供を行い、要望、希望など聞き、ミーティングやスタッフ会などで話し合いながら支援を行い、又、研修や勉強会などにも取り組み、事故防止や質の向上を目指し、よりよいサービスが提供出来るよう日々努力している

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

2ヶ月に1回の運営推進会議では、ご家族・地域の方・市の担当者などの出席により行事報告や情報交換をされている。自治会長の方には、事業所から道路に出るところで事故が頻発していることを相談すると、ミラーを設置する手続きをしていただけで、利用者・職員も安全に出入りができるようになった。事業所の畑の野菜を利用者と一緒に収穫されたり、近所の農家から野菜を分けていただく等、新鮮な野菜を使って食事作りをされている。2つのユニットでおかずを作り、分け合うようにされている。利用者は、ゆで卵の皮むきをされていたり、食器拭きは得意な方がされている様子がうかがえた。包丁使いに自信のある方が剥いた柿が軒先に吊るされてあった。時には、お弁当を作って皆で出かけたり、外食をされることもある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム紙ふうせん

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)

氏名 松岡 敬子

評価完了日 平成 21 年 12 月 4 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 月1回のスタッフ会議を行い、問題点など話し合い、少しでも理念を理解し、忘れないようスタッフルームに貼って、毎日目を通しながら、現場での実践につなげていけるよう努めている (外部評価) 開設当時、職員から意見を集めて理念を作成され「ホームの名前でもある紙ふうせんのようにま～るい心で、利用者にもご家族にも地域の方にも、接していこう」ということを目標にされている。管理者は「落ちそうになる人を下から支えるという気持ちも込めている」と話されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 保育園や小学校への訪問や、ホームへの訪問など行ったり、納涼祭を行ったりして、地域の方とのつながりを深めながら交流している (外部評価) 事業所で開催する納涼祭に来ていただいたり、地域の溝掃除を職員がお手伝いされたり、とお付き合いの幅が広がっており「徐々に地域の方達に事業所の存在が知られてきた」と管理者は、実感されていた。保育園や小学校の運動会等の行事を見学に行ったり、運動場を散歩させてもらうこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の人からの問い合わせや相談があった時は、分かり易く対応出来るよう、全員が連絡を取りあったり、運営委員会で情報提供したりしながら活かしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回の開催により、出席者と共に情報交換、現状報告等を行いながら話し合い、向上、改善に活かしている</p> <p>(外部評価) 2ヶ月に1回の会議では、ご家族・地域の方・市の担当者などの出席により行事報告や情報交換をされている。自治会長の方には、事業所から道路に出るところで事故が頻発していることを相談すると、ミラーを設置する手続きをしていただけて、利用者・職員も安全に出入りができるようになった。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市町村からの要求や依頼に対しては、業務に支障のない範囲で協力させてもらったり、情報提供の場（連絡会設置）などがあり、協力関係を築くようにしている</p> <p>(外部評価) 市の支部長の方が主導で、三間町の介護保険事業所・ケアマネージャー・保健師が参加する「三守隊」という連絡会が立ち上げられており、3ヶ月に1回、管理者と職員が参加し、情報交換をされている。運営推進会議に出席した市の担当者からは、インフルエンザやイベントの情報等を教えてもらっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 拘束はしていない。その分見守りはスタッフ同士強化している 施設内に鍵はかかっておらず、自由に行動してもらえるように心がけ、拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>(外部評価) 管理者と職員は「身体拘束は行わないことが当たり前」との考えのもと、利用者の所在確認を徹底するようにされており、利用者の居場所を職員は把握することに努めておられる。ベッドから転落する危険性がある場合は、ご家族と相談をしてベッドを外し、マットレスの上に布団を敷いて休んでいただくようにされている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  意見箱を設けて、苦情や委員会などでミーティングの時に話し合い、防止への指示などに努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  研修を受けた者もいるが、内容の把握は難しいので、今後、勉強会など利用し、制度の内容の理解に努めるよう支援している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  入居時に説明し、理解と納得の上で入居してもらっているが、特に問題のある場合には、詳細説明し、同意を得よう図っている	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時など、管理者が対応し、意見、要望の受け入れが出来やすいような環境を作ったり、常にコミュニケーションをしっかりと取り、苦情、意見などあった場合は、改善に向けて反映させている  (外部評価)  ご家族の来訪時、職員は管理者に知らせ、管理者が日頃の様子を伝えて意見があれば言ってもらえるように伝えられている。又、ご家族からも「家族会の立ち上げには協力したい」と言ってもらっている。	事業所では、ご家族に職員の名前を覚えていただけるような良い方法はないか検討をされており「家族会」を来年度から開催したいと考えられていた。ご家族のご意見等も聞き取りながら、さらなるご家族との関係を深めたり、事業所のサービスの質向上に向けた取り組みにつなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 週1回のミーティングや、月1回のスタッフ会議などで、問題点や要望など話し合いの場を設け、気軽に話が聞ける機会を持つようにして反映させている (外部評価) 管理者は、職員全員で行った自己評価をまとめる際、職員それぞれのケアの考えを知ることができたようである。日々の勤務の中で職員間で意見が複数出たような場合には、ゆっくりと話し合う時間を作るようにされている。事業所ではノートを作り、職員がいつでも自由に意見等を出すことができるようにされており、早い段階での解決ができるよう取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 休憩室などあり、ゆっくり休むことが出来たり、希望休など考慮したりして、働きやすいように努めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修など受ける際は、希望者を優先する一方、研修も一人ばかりが行くのではなく、全員が参加出来るよう考慮しながら進めている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 連絡会議会などの情報交換や勉強会に参加し交流をかりながら、ネットワーク作りや、質の向上に取り組んでいる	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時や体験入所された時など、きめ細かなサービスが出来よう、本人、家族の話をよく聞き、安心が確保出来るよう努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所時に話し合う時間を十分取り、安心してもらえるよう関係作りに努めている 希望者は体験入所の受け入れもしている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族、関係スタッフでゆっくり話をしながら、しっかりアセスメントを取り、サービスの対応に努めている	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 出来るだけ本人のペースに合わせて行動するよう、スタッフには日々指導しており、反面共同生活であることも利用者には理解してもらえるよう、お互いが支え合っていく関係を築いていけるよう支援している	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会や外出、外泊など、自由にしてもらい、家族との関係を忘れないようにするために、本人への支援をしながらお互いの関係を築いていけるよう努めている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が大切にしている物や、思い出など大事にし、本人や家族が希望する物は、ある程度までは自由にしてもらったり、手紙や電話の受け入れも自由とし、今までの関係が切れないよう支援している (外部評価) 日常的に利用者の知人が面会に来られており、他の利用者が席を譲ってくださる等、歓迎をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	日中は、フロアにて他の利用者との関わりを重視し、仲間同士お互いが助け合い、支え合っているよう、スタッフが援助しながら努めている
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退所された方より知人の紹介があったり、再入所の申し込みがあったりして、スタッフと家族の関係を大切にしていけるよう日々努めている
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	意思表示の出来る方出来ない方と様々なので、その人の事をしっかり把握できるよう、スタッフ同志連絡を取り合いながら、本人の気持ちを大切にしよう、本人本位に検討している
			(外部評価)	
事業所では、現在、アセスメントに用いる様式を整えている途中である。検討を重ね、利用者一人ひとりの現状を把握しやすく、ご本人の思いや意向をくみ取れるようなアセスメントの工夫をすすめられ、ケアにつなげていかれてほしい。				
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所時のアセスメントを確認しながら、その人の生きてきた生活環境などをサービスに取り入れていけるよう努めている
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	一人ひとりのバイタル、介護記録などにより健康状態や、心身状態の変化が分かるよう、日々情報などの交換に努めている



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月1回の全体会議や、各ユニットごとのスタッフ会議などにて話し合いの場を設け、意見、アイデアなどにより介護計画への作成に反映されている</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族が面会に来られた時に、介護計画を見ていただき意見をうかがっておられる。計画の見直しは3ヶ月に1回、ケアマネージャーと職員で話し合われている。利用者に変化があった場合は、状態に合わせて計画を見直されている。</p>	<p>「ご本人がより良く暮らす」ことを支援するためにも、利用者個々の思いや意向の把握の取り組みをすすめ、ご家族ともご本人の生活とケアのあり方について話し合う機会を作り、要望や意見を具体的に引き出し、計画に採り入れていかれてほしい。よりご本人主体の介護計画の作成への取り組みが期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>業務改善などで話し合ったり、研修参加したりしながら、記録の必要性を自覚してもらい、出来るだけ本人の状態が分かるような記録の書き方など努力し、介護計画への見直しに活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>受診時の対応や、その他必要性のある場合は、家族、本人の状態に対応したサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>学校、保育園、地域の方々との交流の場を設け、お互いに協力し合ったりしながら、地域の行事などの参加への支援をしている</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 協力医とのコミュニケーションもうまく取れており、 相談、診察など安心している かかりつけ医がある場合は、本人、家族の意思を重視 し、緊急対応先なども確認しながら支援している</p> <p>(外部評価) 入居される前のかかりつけ医に引き続きかかる利用者 の受診時にも、職員が同行されている。何ヶ所も通院 しなければいけなかったり、長時間の通院になる場合 は、ご家族と連携をとってパトタッチされることも ある。受診の結果は、ご家族から報告して頂いたり、 事業所から伝えたりして、ノートに記録するようにさ れている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 看護師の有資格者がいるので、相談、助言をしても らったり、デイサービスの看護師にも、アドバイスを受 けたりし、受診が適切に受けられるよう支援している</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行ってい る</p>	<p>(自己評価) 入退院の際には、担当医との連絡を、電話やファック スなど利用しながら、指示、助言などの情報交換、相 談など行っている</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療行為には十分注意しながら、家族、かかりつけ医 の指導のもと、スタッフ同士状況を把握しながらチ ーム支援に取り組んでいる</p> <p>(外部評価) 「最期までここにおりたい」と言われる利用者や、 「ぎりぎりまで見てほしい」といわれるご家族の思い を受け止めて、入院されてもできるだけ早く退院して いただけるよう、医療機関と連携を図り支援されてい る。事業所で看取りをされた経験もあり、職員全員で 関わることで「生きた勉強になった」と話されてい た。今後、ご家族に事業所の方針を示し説明するた めの書類も考えておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 研修会や自施設での勉強会、ミーティングなどに対応策を話し合ったり、指導したりしながら、また、スタッフルームにも掲示したりして実践している	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災訓練や緊急連絡網、避難経路など掲示したり、緊急時の役割分担などもスタッフルームに掲示したり、運営委員会にて、地域代表者などにも協力をお願いしている  (外部評価) 居室は全部1階にあり、四方に出口があり、どこから出火しても外へ避難出来るような造りになっている。建物は、耐震強度が強い造りにもなっており、停電があっても一定時間は暗くならないようになっている。運営推進会議時や近所の方にもいざという時の協力をお願いされている。	夜間時、利用者が眠っておられる時間帯等の訓練は今後の取り組みとなっている。色々な場面を想定して訓練を重ね、さらなる安心と安全に向けて取り組まれてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーや情報など、守秘義務に関しては、随時、繰り返しながら徹底に心がけたり、言葉使いにも十分配慮しながら対応していくよう日々指導している  (外部評価) 管理者は、言葉かけについて、職員に命令口調にならないよう「 されませんか」と問いかけるように話すことを指導されている。掃除を丁寧にしてくださった利用者を職員が「ありがとうございますおかげできれいになりました」と労っておられる様子がかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の要望など、聞ける範囲で聞きながら、それぞれに合った援助内容を計画し、実践出来るよう働きかけている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりに合わせたペースやくつろぎ方などに気をつかい、また、利用者同士の会話や交流を自由に行ってもらいながら、スタッフは見守りを支援している	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 理、美容は2ヶ月に1回の割合で希望され、業者と連携しながら行い、洋服などの選択は本人が行ったり、一緒に選んだりする時もあり、出来ない部分は支援している	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来るだけ採れたての物を使用するよう心掛け、好み、味付けなど手伝ってもらいながら調理したり、片付け、準備など一緒に行っている	
			(外部評価) 事業所の畑の野菜を利用者と一緒に収穫されたり、近所の農家から野菜を分けていただく等、新鮮な野菜を使って食事作りをされている。2つのユニットでおかずを作り、分け合うようにされている。利用者は、ゆで卵の皮むきをされていたり、食器拭きは得意な方がされている様子がうかがえた。包丁使いに自信のある方が剥いた柿が軒先に吊るされてあった。時には、お弁当を作って皆で出かけた、外食をされることもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 本人の状態、習慣などにより、水分チェック、体重チェックを行ったりしながら、食事の量や、栄養バランスなどスタッフが調理したり、本人からの訴えを受け入れながら支援している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアを、声掛けや、見守り、一部介助などで行っている 義歯や口腔用品も定期的に洗浄し、夜間は義歯は取り外している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 出来るだけポータブルは使用しないで、トイレ誘導に努めている。排泄チェックなど毎日行い、パターン、習慣など考慮し支援している</p> <p>(外部評価) 排泄チェック表に時間を記入することで、個々の排泄の傾向がつかめ、昼間は職員の誘導で、利用者は失敗することなくトイレで排泄できているようである。夜間は、ゆっくり休んでもらえるようおむつ等を使用されている方もいるが、夜間の転倒を防ぐために、職員がトイレにお連れしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) バイタルチェックなどを参考にしながら、水分補給、食べ物など注意しながら、出来るだけ自然排便出来るよう取り組んでいる</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人の希望もあり2日に1回の割合で入浴している。本人の体調状況などにより変更になったり、毎日入浴に変更になることもあるが、本人の気持ちを主体に支援している</p> <p>(外部評価) 事業所に浴室はあるが、デイサービスの大きなお風呂に入られる方が多い。そのため、午後入浴となり、仲良しペアが自然と出来上がって順番も決まってきたようである。長い間入浴されてなかった方も、足を痛めたことをきっかけに「先生が温めた方がいいと言われたね」と伝えるとお風呂に入られるようである。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) その時の状態で、色々な場所で自由に休んでもらったり、安心して眠れるために、寝る前の雰囲気作りにも気をつけながら支援している</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフがそれぞれに確認し、介助する際などにも再度確認するなどして、間違わないようスタッフ同士で確認し合いながら行い、変化などがあった場合は、かかりつけ医の指示を受けながら支援している	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) その人に合った役割や楽しみ事など、いつもの会話の中から見つけ、日常生活に取り入れれたりして気分転換の支援をしている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その時の希望を全て聞き入れる事は出来ないが、年間行事、月間行事を決めたりして、本人の希望する買い物、外出など出来る範囲で支援している	
			(外部評価) 散歩は、コスモスを見に行ったり、保育園や小学校や公園に行ったり、色々なコースがある。希望を聞き取り「外食」「買い物」のグループに分かれて出かけることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 大きなお金の預かりはお断りしているが、本人が必要とされている小口の現金は事務所で預かっており、必要な時本人に渡したり、代行で買い物をしたりして、本人には、なくなっても支障がない分家族が持たせているが、利用者同志、問題が起らないよう支援している	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は家族の了解された人には、掛けたり、取次いだりしているが、時間だけは決めてもらったり手紙などは本人に直接渡したり、読んであげたりしながら支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関、食堂などに季節の花を植えたり、飾ったり、窓ガラスなどは特殊な物を使用しており、寒さや、暑さ、湿度、プライバシーの保護などにも工夫している	
			(外部評価) 玄関を入ると、靴を脱がないうちに手洗いが出来るように洗面台があり、訪れる方はうがいや手洗いをするようになっている。トイレには木札に「トイレ」と書いて目の高さに取り付けてあった。居間にはクリスマスツリー、外壁にはイルミネーションが飾られ、夜は12時まで点灯されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共同利用出来る空間には、ソファや畳など設置し、利用者同士気軽に過ごせるような場所の工夫をしている	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族と本人の希望される物は、出来るだけ持ち込めるよう受け入れているが、転倒の際などに危険性のある物は、最小限にしてもらい、過ごしやすいよう工夫している	
			(外部評価) 居室の壁には、ご家族と一緒に写っている写真やご自分で塗った塗り絵を貼られ、タンスや衣装ケース、仏壇を持って来られている方もある。入居されたばかりで落ち着かない方に、ご家族の協力を得てご自宅で身近に置いておられた飾り棚を持って来ていただいたことで、落ち着かれたというような事例もある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下を広くとったり、手すりを設置したりして、転倒防止や歩行訓練などに利用しながら、安全に生活が送れるよう工夫している	
			(外部評価)	